

選 手 に 注 意 す る こ と

1 規 則

本大会は 2025 年度（財）日本陸上競技連盟規則及び本大会要項に従い実施する。

2 練 習

山梨陸協競技役員の指示によって行う。

3 招 集

（１）招集は競技者係の指示により、100mスタート付近器具庫の外で行う。

トラック競技 競技開始 20分前

フィールド競技 競技開始 30分前

（２）招集に遅れた場合は棄権とみなし、出場を認めない。

（３）棄権選手がいる場合は、危険届を競技者係に提出すること。

（４）招集所から競技場への入場、及び競技終了後の退場は係員の指示に従うこと。

4 走路及びフィールド競技の競技順序

（１）各競技ともプログラムに記載されたレーン及び試技順とする。

（２）トラック競技の決勝は番組編成員が公正に抽選し、招集所に掲示する。

5 リレー競技

オーダー用紙は招集完了1時間前までに競技者係まで提出する。

6 走高跳

「はさみ跳び」に限る。また、足からの着地とする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
男子	90	100	105	110	115	120	125	130	以降 3 cm きざみ		
女子	90	100	105	110	115	120	以降 3 cm きざみ				

第1位が同成績の場合のバーの上げ方

2cmきざみ

7 走幅跳

試技は3回行う。ベスト8は更に3回の試技を行い、順位を決定する。

3・4年生の試技は3回とする。

8 ジャベリックボール投

（１）NISHI製の物を用い、やり投げのピットを使用し試技を行う。

（２）助走距離は15m以内とする。

（３）試技は3回行う。ベスト8は更に3回試技を行い、順位を決定する。

9 競技用靴

（１）スパイク・シューズは使用してよい。ピンの長さは9mmを越えてはならない。

（２）走高跳のスパイクピンの長さは12mmを越えてはならない。

10 暑熱対策

（１）各クラブ、競技者は各自で日陰等を使い、暑さ対策を行うこと。

（２）3・4年生の走幅跳の試技は3回とする。

（３）800m、1000mは異学年合同で実施するが、順位は学年別とする。

（４）競技中の気温、WBGTを常に計測し、日本陸連より通達のあった暑熱対策に沿った競技運営とする。（中断、中止もあり得る）

- (5) 天候の状況により、当日タイムテーブルを変更することもあり得る。
- (6) 必要に応じてチーム責任者会議を開くことがある。

11 その他

- (1) スタートはクラウチングスタートとする。(スターティングブロックは使用しなくても良い。)
- (2) 同じ競技者が2回不正スタートをしたときは、その競技者を失格とし、オープン参加として走らせる。
- (3) 物品の管理については各自で十分注意し、盗難にあわないようにすること。
- (4) 参加選手の傷害等については、応急手当と主催者が加入する傷害保険の範囲内で補償するが、それ以上の責任は負わない。
- (5) 抗議：協議結果についての抗議は **TRB** に拠るが、抗議者は競技者本人またはクラブ責任者・引率者とする。